

安曇野市公共サイン整備方針の概要  
[安曇野市公共サインガイドライン・付属資料]

平成30（2018）年10月

安曇野市

## はじめに

安曇野には北アルプスと田園風景、さらには湧水群という恵まれた観光資源があります。その魅力が次第に広まって、安曇野市を訪れる観光客数は平成 29 年には 500 万人を数え、この 10 年余りで倍増しました。また長野県全域では外国人観光客が急増しており（平成 28 年延宿泊者約 86 万人、対前年比 22%増）、本市を訪れる外国人観光客も徐々に増加するものと思われます。しかし現存する観光案内標識は、国道・県道沿いの道路標識を利用したものや旧町村がそれぞれ設置した観光案内板、環境庁と県が設置した自然歩道標識など、さまざまな様式のもの混在し、市全域の観光地を全体的・体系的に案内できる水準にいたっていません。

また平成 17 年に 5 町村が合併した本市は、豊科、穂高、三郷、堀金、明科の各市街地を中心に、公民館、交流学習センター、図書館、体育施設などの公共施設の整備を進めてきましたが、これら公共施設の案内においても現状では一部の道路標識があるに留まり、市全域を体系的に案内できる水準にいたっていません。

このような移動経路における案内不足の状況を解消するため、安曇野市では公共サイン整備を進めることとし、その考え方や設計基準等を示した「公共サインガイドライン」を策定します（「公共サイン」とは、人々の円滑な移動等を支援するために、公共機関が設置主体となり、道路沿いや公共施設内などに整備する案内表示類の総称です）。

見やすくわかりやすく、また安曇野にふさわしいスマートな公共サインを統一的に整備することで、観光客にとっては旅行が一層楽しくなり、市民にとっては一層暮らしやすくなり、同時に都市景観の質が向上し安曇野市全域の一体感の醸成に寄与できることが期待されます。

# 1. 整備の目的と整備エリア

## 1. 整備の目的

安曇野市では、全国各地からの観光客や海外からの観光客に安曇野全域を楽しんでいただくため、また市民が一層快適に生活を営めるよう、公道等において道案内情報を提供する「観光系サインシステム」と「公共系サインシステム」を整備します。

## 2. 観光系サインシステムの整備エリア

本整備は市全域を検討対象としますが、観光系では下図に示す5つのエリアを特に重点整備エリアとして想定しています。またこのサインシステムでは、各エリアを観光上の回遊単位(ひとめぐりする行動域)とみなしています。エリアA・B・C・Eは約4.2km四方、エリアDは約4.2×8.4kmの範囲を回遊単位とします。

A: 碓山美術館 ～ 大王わさび農場

B: 大王わさび農場 ～ 旧国鉄篠ノ井線廃線敷

C: 憩いの池 ～ 光城山山頂

D: 松尾寺 ～ 国営アルプスあづみの公園

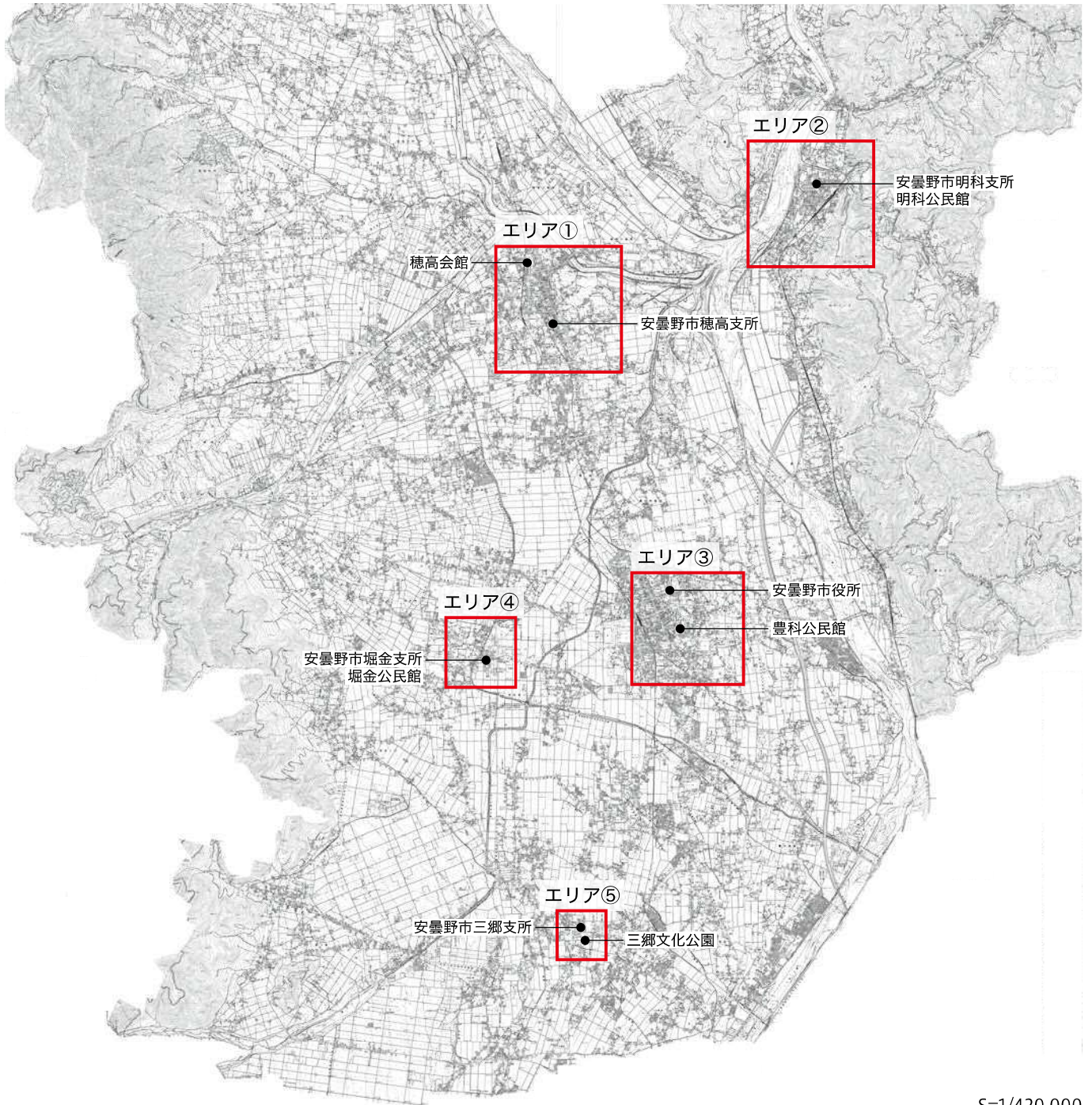
E: 楡の里 ～ 安曇野ワイナリー



3. 公共系サインシステムの整備エリア

公共系では下図に示す5つのエリアを特に重点整備エリアとして想定しています。

- ①: 穂高市街地
- ②: 明科市街地
- ③: 豊科市街地
- ④: 堀金市街地
- ⑤: 三郷市街地



S=1/420,000

## II. サインの種別とシステム構成

### 1. サインの種別

安曇野市の公共サインは、観光系・公共系ともに以下のサイン種別によってシステムを構成します。

- ①指示サイン（観光地・来訪施設等の方向を指示する標識）
- ②同定サイン（観光地・来訪施設等の位置を同定する標識）
- ③図解サイン（地点・施設などの位置関係を図解する標識）

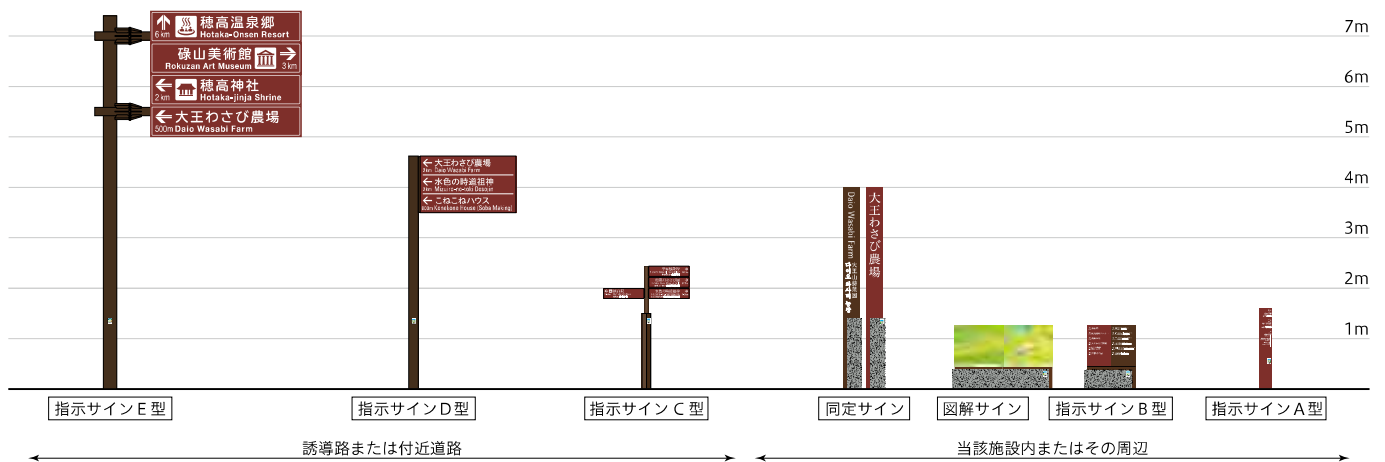
### 2. システム構成

観光系・公共系共通に、システムの構成は次のとおりです。

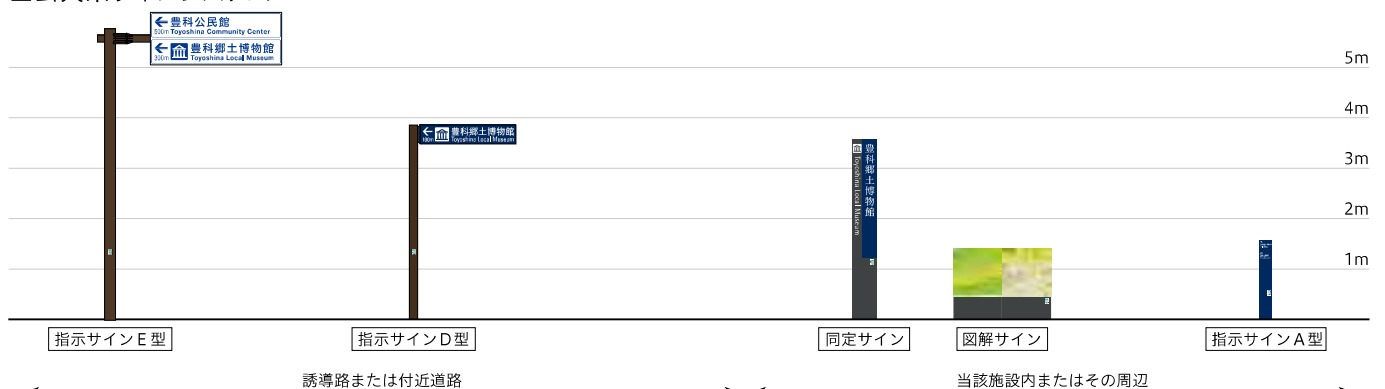
用途	型式	配置原則
車両用	指示サインE型	観光系では本市への流入地点、公共系では来訪施設への右左折地点（車道上）
	指示サインD型	観光地または来訪施設への右左折地点（歩道上）
歩車兼用	指示サインC型	観光地回遊単位内での右左折地点（路肩）
	同定サイン	観光地または来訪施設入口、遠方から見える向き（歩道上または敷地内）
歩行者用	図解サイン	観光地または来訪施設敷地内、入出場時に発見しやすい位置
	指示サインB型	観光地敷地内、入出場時に発見しやすい位置
	指示サインA型	限定的な地点間の移動経路上（歩道上または敷地内）

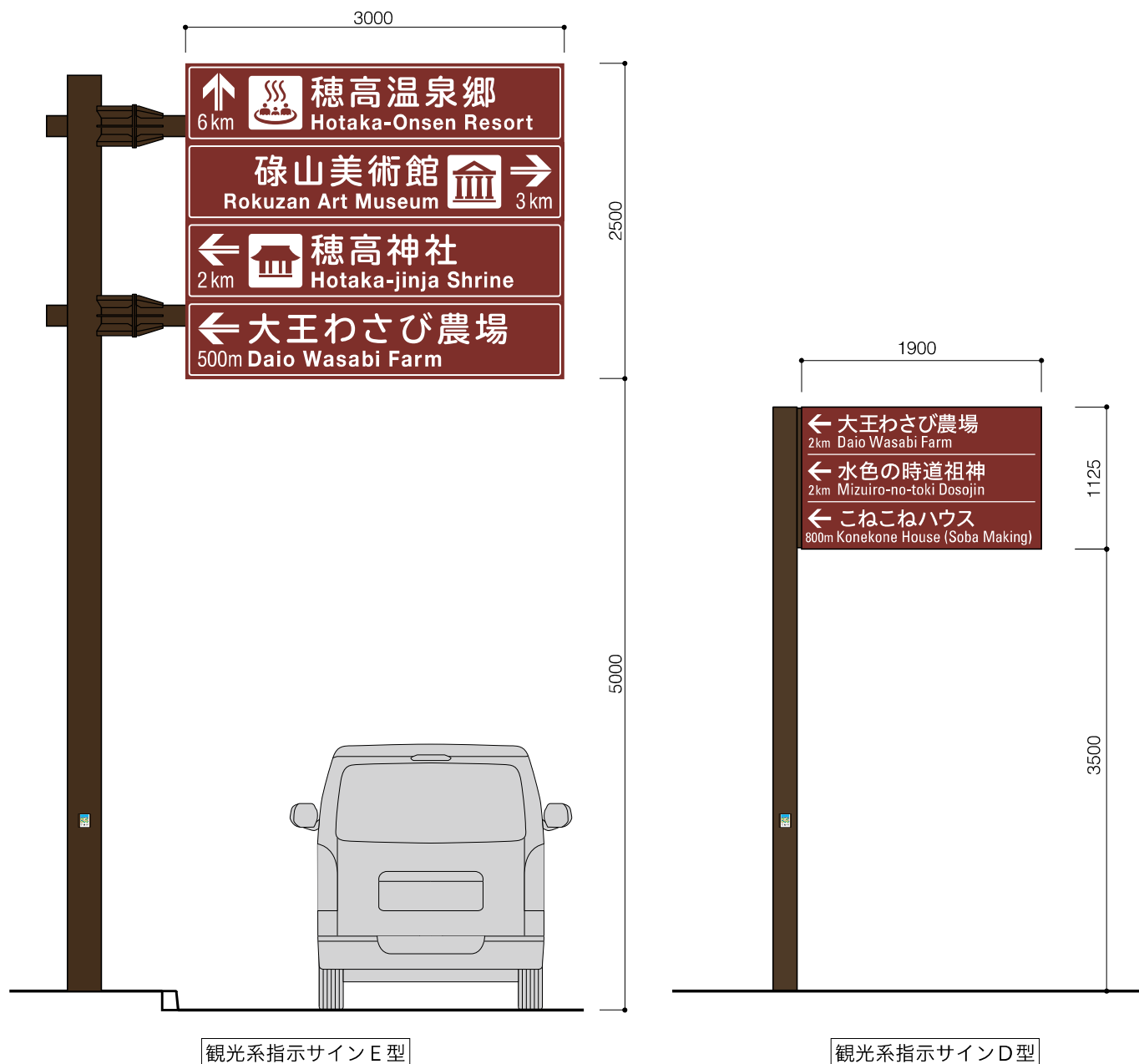
なお公共系サインシステムでは、指示サインC型、B型の設置は想定していません。

#### ■観光系サインシステム



#### ■公共系サインシステム



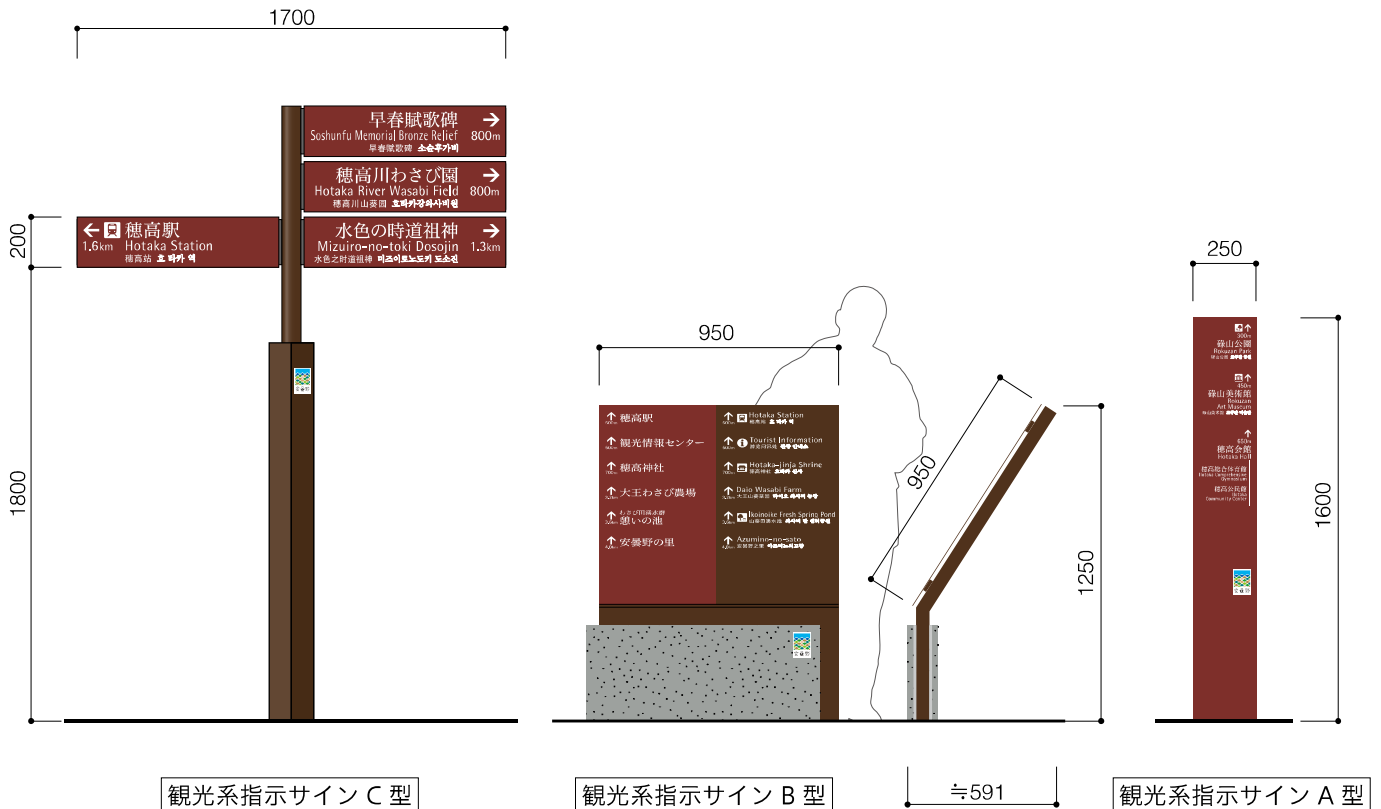


### 1. 観光系指示サイン E 型

- ・表示内容：安曇野市を代表する観光地である「安曇野穂高温泉郷」「大王わさび農場」「穂高神社」「礫山美術館」四地点の方向を、他地域から安曇野市に入った地点で案内します(この型式では道路標識にならない、短く「穂高温泉郷」と表記します)。
- ・使用色彩：欧米やアジア諸国などの観光地案内標識として標準化している茶色を uses (支柱は国土交通省『景観に配慮した道路付属物等ガイドライン』に定められている「ダークブラウン (こげ茶色)」)。この彩色は静岡県や奈良県など、わが国各地でも導入され始めています。
- ・設置型式：既存の道路案内標識オーバーハング型と同じ型式を用いて、車道に持ち出すかたちで歩道上に設置します。

### 2. 観光系指示サイン D 型

- ・表示内容：四大観光地のほか、市内で人気の高い観光地の方向を、主要道路から各観光地方向に分岐する箇所案内します。
- ・使用色彩：観光系共通の茶色を uses (支柱は「ダークブラウン」)。
- ・設置型式：十字方向を指し示すことができる矢羽根型を歩道上に設置します。



### 3. 観光系指示サイン C 型

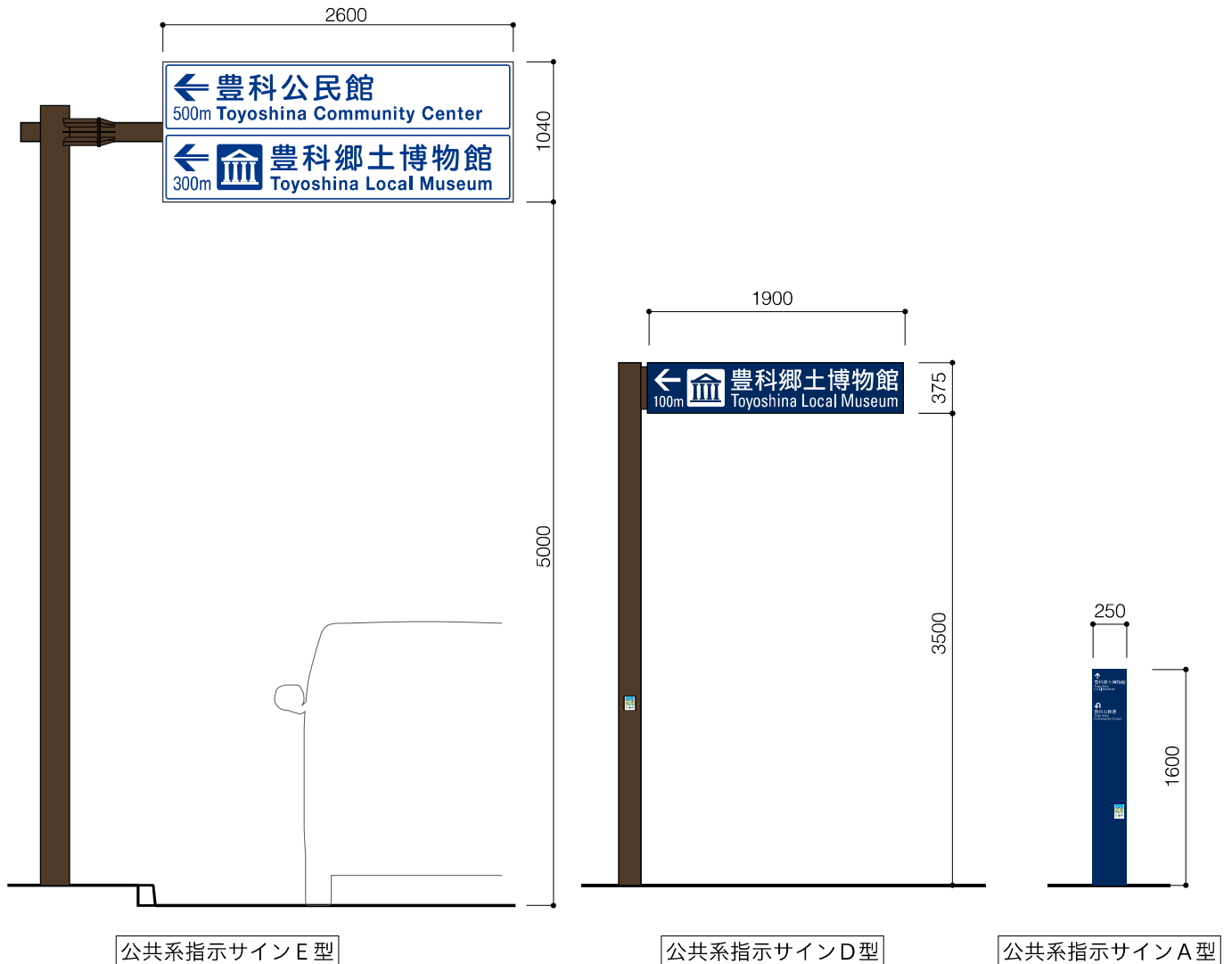
- ・表示内容：特定の回遊単位内で、各観光地の方向を案内します。この C 型と、以下 B 型、A 型に表示する観光地名称は、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 か国語で表示します。
- ・使用色彩：観光系共通の茶色を uses。なお茶色の選定にあたり、安曇野の四季を通して景観に感じられる色彩の調査を行い、景観と調和し一定の誘目性を有する「海老茶色」（主張色）と「栓皮色」（補助色）の 2 色を定めました。この C 型と B 型にこの 2 色を uses。
- ・設置型式：さまざまな方向を指し示すことができる矢羽根型を路肩に設置します。

### 4. 観光系指示サイン B 型

- ・表示内容：特定の観光地内において、同じ回遊単位に属する他の観光地の方向を案内します。
- ・使用色彩：観光系共通の茶色（海老茶色）と補助色（栓皮色）を uses。
- ・設置型式：観光地内にあつて人々の視野を塞ぐことがないように、スラント（傾斜）型を設置します。

### 5. 観光系指示サイン A 型

- ・表示内容：鉄道駅と特定観光地間など、限定的な地点間の移動経路を案内します。
- ・使用色彩：観光系共通の茶色（海老茶色）を uses。
- ・設置型式：景観の妨げを最小限に抑えるため、スリムな自立型を設置します。



## 6. 公共系指示サイン E 型

- ・表示内容：特定の市街地にあつて、案内が必要な来訪施設の方向を指示します。案内施設の選択は、市民のニーズに基づいて担当部署が判断します。
- ・使用色彩：市内各所に見られる著名地点道路案内標識（114-A）との整合を図るため、白地青文字とします（支柱は国土交通省ガイドラインの「ダークブラウン」）。
- ・設置型式：道路案内標識オーバーハング型と同様に、車道に持ち出すかたちで歩道上に設置します。

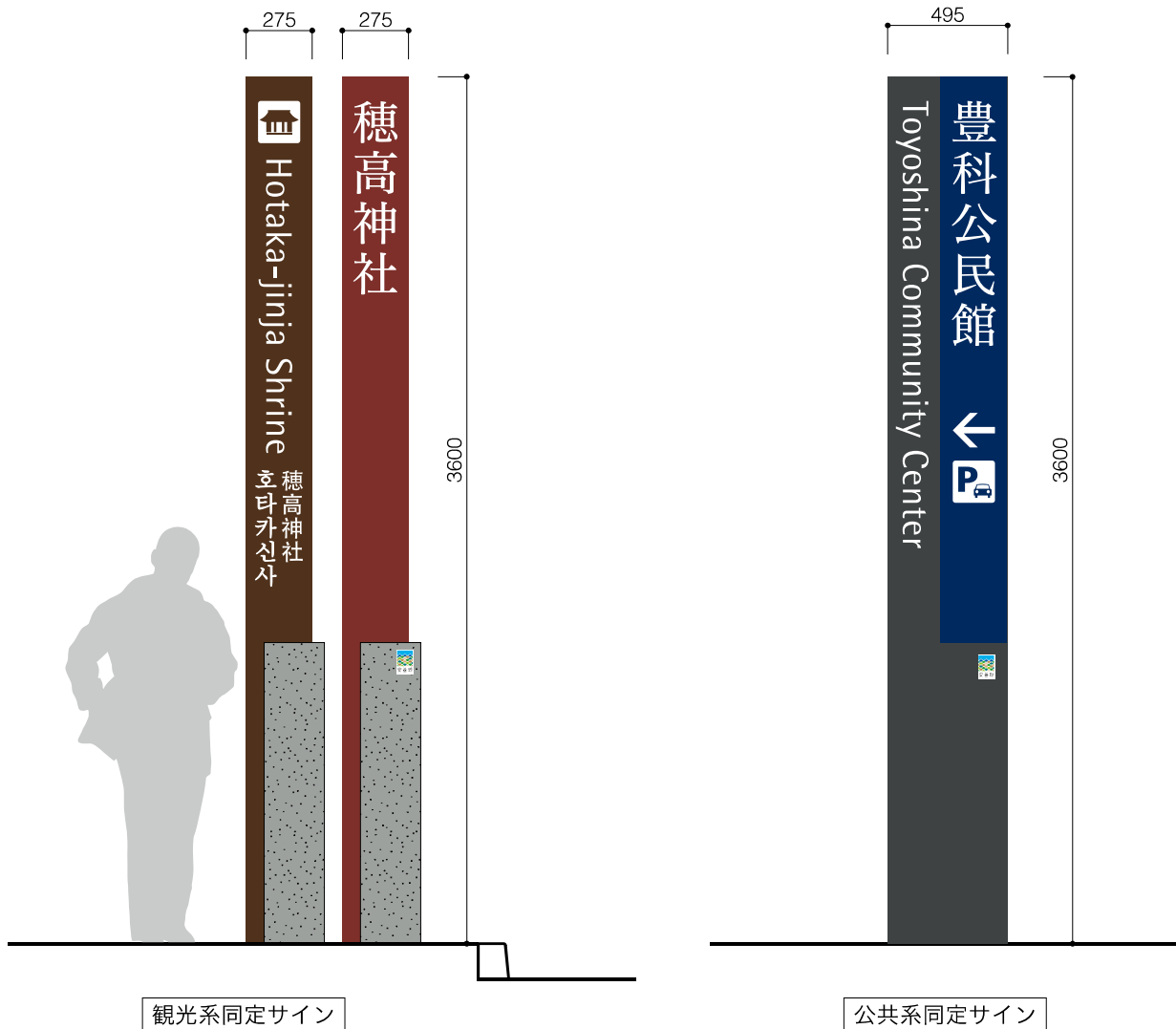
## 7. 公共系指示サイン D 型

- ・表示内容：E 型サインの設置位置と該当施設間で案内が必要な場合、その方向を指示します。
- ・使用色彩：E 型サインとの共通性を保ちつつ誘目性を高めるため、青地白文字で青の色相は「紺色」とします（支柱は「ダークブラウン」）。
- ・設置型式：観光系 D 型と同様に、十字方向を指し示すことができる矢羽根型を歩道上に設置します。

## 8. 公共系指示サイン A 型

- ・表示内容：鉄道駅と特定施設間など、限定的な地点間の移動経路を案内します。
- ・使用色彩：公共系共通の紺色を用います。
- ・設置型式：景観の妨げを最小限に抑えるため、スリムな自立型を設置します。



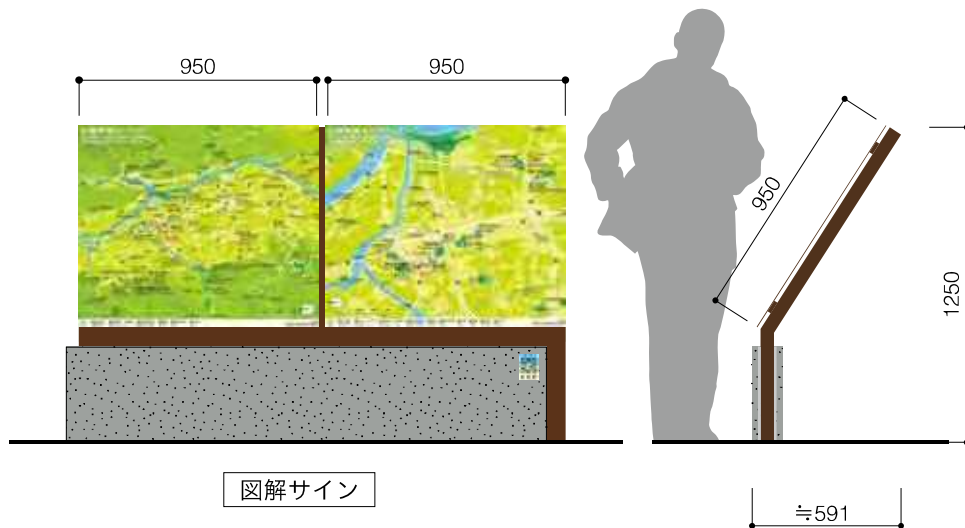


### 9. 観光系同定サイン

- ・表示内容：案内する観光地の名称を4か国語で表示します。
- ・使用色彩：観光系で定めた「海老茶色」（主張色）と「渋皮色」（補助色）の2色を用います。車道寄りなど遠方から見やすい側に日本語と海老茶色を用います。
- ・設置型式：観光地名を遠くから見やすい高さに掲げるとともに、安曇野のまちのたたずまいに似合うよう、すつと高くのびる自立型とします。

### 10. 公共系同定サイン

- ・表示内容：案内する来訪施設の名称を2か国語で表示します。
- ・使用色彩：公共系で定めた「紺色」（主張色）と「チャコールグレー」（補助色）の2色を用います。
- ・設置型式：観光系と同様に、遠くから見やすいように自立型とします。



図解サイン

### 11. 図解サイン

- ・表示内容：図解サインは広域図と付近図の2種一組で表示します。広域図は観光系、公共系ともに市全域を、付近図は観光系、公共系それぞれに重点整備エリアをクローズアップして表示します。
- ・使用色彩：特に広域図には、“緑あふれる安曇野”のイメージにつながるよう、緑色のグラデーションを 사용합니다。
- ・設置型式：観光地や施設内であって人々の視野を塞ぐことがないように、スラント（傾斜）型を設置します。

### 12. 特記

- ・観光地に設置する同定サイン、指示サインB型、図解サインには、大地とのつながりを表現するため、市内各所に見られる道祖神と同じ花崗岩を用いた基壇を設けます。
- ・本ガイドラインで整備するサインには情報源のクレジットとして安曇野市が定めている「朝が好きになる街 安曇野ロゴマーク」銘板を貼付します。
- ・次頁に観光系図解サイン広域図・付近図のグラフィックサンプルを示します。

・安曇野市公共サインに貼付する銘板



・観光系図解サイン広域図のグラフィックサンプル



・観光系図解サイン付近図のグラフィックサンプル



〈参考1〉 情報掲載基準

図解サインに掲出する施設・地点の名称は以下の基準により選出する。

なお、広域図は掲出する情報が多岐にわたるため、観光地に設置する観光広域図と公共施設に設置する公共広域図を分けて考える。

1. 観光系図解サインの情報掲載基準

項目	観光地の広域図	観光地の付近図	表記言語
行動起点	鉄道駅及び鉄道路線名	鉄道駅及び鉄道路線名	4ヶ国語
	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	2ヶ国語
観光案内所	安曇野市観光協会が運営する観光案内所	安曇野市観光協会が運営する観光案内所	4ヶ国語
観光名所	安曇野市観光アンケート調査及び長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	安曇野市観光アンケート調査及び長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	4ヶ国語
	あづみ野周遊バスが停車する観光名所	あづみ野周遊バスが停車する観光名所	4ヶ国語
	市が必要と判断した観光名所	市が必要と判断した観光名所	2ヶ国語
文化施設	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	2ヶ国語
		上記のほか安曇野市ホームページに掲載されている美術館・博物館	
公園	1haを超える公園	1haを超える公園	2ヶ国語
	上記のほか市が必要と判断した公園	上記のほか市が必要と判断した公園	2ヶ国語
温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	2ヶ国語
市役所庁舎	掲載しない	市役所本庁舎及び支所	2ヶ国語
体育施設	掲載しない	すべての体育施設	2ヶ国語
学校	掲載しない	すべての小・中・高等学校	2ヶ国語
公民館	掲載しない	すべての公民館及び集合施設	2ヶ国語
交流学習センター・図書館	掲載しない	すべての交流学習センター及び図書館	2ヶ国語
医療施設	掲載しない	一般社団法人 安曇野市医師会所属の病院	2ヶ国語
警察	掲載しない	警察署及び交番	2ヶ国語
避難場所	掲載しない	基準によって掲載され、指定緊急避難場所に登録されている施設	4ヶ国語
道路	国道番号、県道番号、主要地方道番号	国道番号、県道番号、主要地方道番号	数字
橋梁	一級河川に架かる100m以上の橋梁名 (図が煩雑になる場合は省略)	一級河川に架かる50m以上の橋梁名 (図が煩雑になる場合は省略)	2ヶ国語
河川	すべての一級河川(図が煩雑になる場合は省略)	すべての一級河川(図が煩雑になる場合は省略)	2ヶ国語

2. 公共系図解サインの情報掲載基準

項目	公共施設の広域図	公共施設の付近図	表記言語
行動起点	鉄道駅及び鉄道路線名	鉄道駅及び鉄道路線名	4ヶ国語
	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	2ヶ国語
観光案内所	掲載しない	掲載しない	-
観光名所	安曇野市観光アンケート調査及び 長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	安曇野市観光アンケート調査及び 長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	2ヶ国語
		あづみ野周遊バスが停車する観光名所	
		市が必要と判断した観光名所	
文化施設	安曇野市ホームページに 掲載されている美術館・博物館のうち 安曇野アートライン非加盟のもの	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	2ヶ国語
		上記のほか安曇野市ホームページに 掲載されている美術館・博物館	
公園	1haを超える公園	1haを超える公園	2ヶ国語
	上記のほか市が必要と判断した公園	上記のほか市が必要と判断した公園	2ヶ国語
温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	2ヶ国語
商業施設	掲載しない	店舗面積 5000㎡以上	2ヶ国語
市役所庁舎	市役所本庁舎及び支所	市役所本庁舎及び支所	2ヶ国語
商工施設	掲載しない	市が保有する商工施設	2ヶ国語
	掲載しない	安曇野市商工会の施設	2ヶ国語
体育施設	複合施設である体育施設	すべての体育施設	2ヶ国語
学校	高等学校	すべての小・中・高等学校	2ヶ国語
公民館	すべての公民館	すべての公民館	2ヶ国語
子育て施設	掲載しない	すべての認定こども園と児童館	2ヶ国語
交流学习センター ・図書館	掲載しない	すべての交流学习センター及び図書館	2ヶ国語
医療施設	一般社団法人 安曇野市医師会所属の病院	一般社団法人 安曇野市医師会所属の病院	2ヶ国語
保健センター	掲載しない	すべての保健センター	2ヶ国語
福祉施設	掲載しない	市が保有する福祉施設	2ヶ国語
	掲載しない	その他の福祉施設（都市計画図に表記のあるもの）	2ヶ国語
警察	警察署	警察署及び交番	2ヶ国語
消防署	掲載しない	すべての消防署	2ヶ国語
郵便局	掲載しない	すべての郵便局	2ヶ国語
避難場所	掲載しない	基準によって掲載され、 指定緊急避難場所に登録されている施設	4ヶ国語
道路	国道番号、県道番号、主要地方道番号	国道番号、県道番号、主要地方道番号	数字
橋梁	一級河川に架かる 100m 以上の橋梁名 (図が煩雑になる場合は省略)	一級河川に架かる 50m 以上の橋梁名 (図が煩雑になる場合は省略)	2ヶ国語
河川	すべての一級河川 (図が煩雑になる場合は省略)	すべての一級河川 (図が煩雑になる場合は省略)	2ヶ国語
その他	広い敷地があるなど地点認識に有効となる施設	広い敷地があるなど地点認識に有効となる施設	2ヶ国語

〈参考2〉 色彩

現地での景観色彩調査や安曇野市観光協会ホームページに掲載されている四季の風景から、安曇野の印象的な色彩を抽出し、観光系サイン器具共通に用いる「安曇野にふさわしい色彩」を以下のように設定した。



安曇野の印象的な色彩と調和し、  
景観の中で一定の誘目性を持つ2色を選定



主張色（海老茶色）と同系補助色（  
椀皮色）の2色を用いることで、サインが単調になることを避け、景観構成要素としてとけ込ませる。



海老茶色  
日塗工：H 07-30L



椀皮色  
日塗工：H 15-30B

図解サインのマップは安曇野の地に見られる”豊かな緑色”を念頭に緑のグラデーションを表現する。

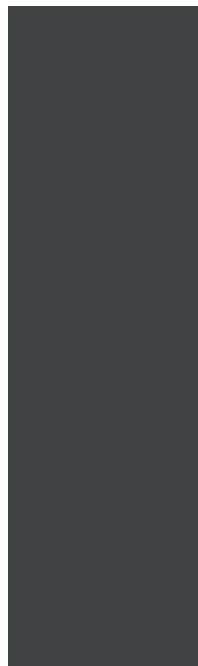


水色、緑のグラデーション色

公共系サイン器具では、道路標識著名地点（114系）の指定色（青）と同系色の中から“湧水の奥行感”をイメージした下記色彩を設定した。また、同定サインなどで用いる主張色を補助する色彩として、無彩色のチャコールグレーを設定する。



紺色  
日塗工：H 77-20L



チャコールグレー  
日塗工：H N-30

〈参考3〉形状・素材

安曇野市内の景観や建築物などから、まちのたたずまいに似合う形状を工夫する。



開かれた道路景観

開かれた景観をできるだけ妨げたくない。



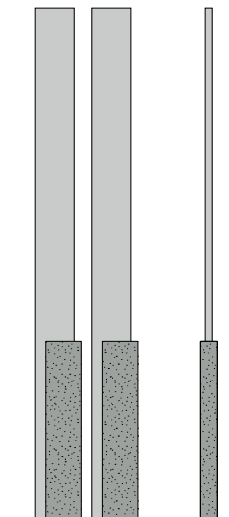
天に延びる鐘楼

天に延びる形がとりわけ印象的である。



建築物の長い水平ラインと大きな切妻屋根

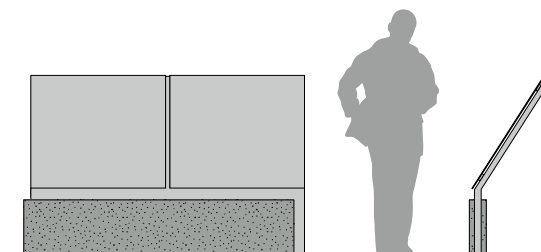
まちなかの主要施設はモダンデザインである。



まちのたたずまいに似合う形状

視界を塞がず、すっきりとしたスマートなフォルムを工夫する。

堅牢性を担保するため、器具の構造材及び表面材はステンレス製とする。  
主要地点のサインには、大地とのつながりを表現するため、  
市内各所に見られる道祖神と同じ花崗岩を用いた基壇を設ける。



点在する道祖神

道祖神の石素材が造形ヒントにならないか。



〈参考4〉書体

安曇野のまちに似合うよう配慮しつつ、視認性が担保できるよう書体を設定する。

1) 指示サイン A 型・B 型・C 型と同定サインの書体

日本語：ヒラギノ UD 明朝 (W4) \*1

安曇野わさび田湧水群

英語：Rotis SemiSans (55) \*1

Azumino Fresh Spring

中国語：华文黑体

安曇野山葵田湧水群

韓国語：MP SDMyungjoKo2 (Light、文字高×2/100mm 太加工) \*2

와사비밭샘터

\*1 視認性を確保するため、文字高をゴシック体の場合より大きめに設定する。

\*2 「太加工」とは、文字の輪郭を一定の太さの線で描くデジタル処理を行って、オリジナルフォントより太めのストロークを得る方法を指す。

2) 図解サインの書体

日本語：ヒラギノ UD 角ゴ (W5)

安曇野わさび田湧水群

英語：Univers (57 Condensed) \*3

Azumino Fresh Spring

中国語：冬青黑体简体中文 (W3、文字高×1.5/100mm 太加工)

安曇野山葵田湧水群

韓国語：Apple SD 산돌고딕 Neo 일반체 (文字高×1/100mm 太加工)

와사비밭샘터

\*3 コンデンス体の選択は、英文つづり幅を抑えるための配慮である。

3) 指示サイン D 型の書体

日本語：ヒラギノ UD 角ゴ (W5)

豊科郷土博物館

英語：Univers (57 Condensed)

Toyoshina Local Museum

〈参考5〉ピクトグラム

言語上多様な観光客の理解を高めるため、また文字列をとらえやすくする補助手段として、ピクトグラムを用いる。具体的には案内用図記号 JIS Z 8210:2017 において規定されているものを使用する。



\*1 駐車場のピクトグラムについて、2017年7月にISO図記号と同一とする改訂が図られたが、従来と同一サイズに表示する場合、広く認知されている（2001年現在 理解度 97.9点）「P」部分の視認性が著しく後退するため、「P」と「自動車」の比率を調整した。



不特定多数の利用者が理解できない私製のピクトグラムは用いない。

案内用図記号 JIS Z 8210:2017 において規定されているピクトグラム一覧 (平成 29 年 7 月 20 日改正)

\*1 通貨記号差し替え可    \*2 文字による補助表示が必要    \*3 平成 31 年 7 月 20 日をもって削除すると注記あり    \*4 他の言語または国旗に差し替え可

**■ 公共・一般施設**


**■ 交通施設**


**■ 商業施設**

--	--	--	--	--	--

**■ 観光・文化・スポーツ施設**

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**■ 安全**

--	--	--	--	--	--	--	--

**■ 禁止**


**■ 注意**

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**■ 指示**

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

**■ 災害種別一般**

--	--	--	--	--

**■ 洪水・堤防案内**

--	--

**■ 附属書 JA (参考)**




安曇野

## 安曇野市公共サイン整備方針の概要

[安曇野市公共サインガイドライン・付属資料]

発行年月 平成 30 (2018) 年 10 月

発 行 安曇野市

編 集 安曇野市 都市建設部 都市計画課

〒399-8281

長野県安曇野市豊科 6000 番地

電 話 : 0263-71-2246

F A X : 0263-72-3569

メール : [toshikeikaku@city.azumino.nagano.jp](mailto:toshikeikaku@city.azumino.nagano.jp)

---